

9月定例会の一般質問では、10名の議員が市長をはじめ市当局の考え方を広く質問しました。主な内容は以下のとおりです。

市政への質問

竹内市政がめざす三田市とは？

竹内市長の初めてとなる9月定例会において、任期である4年間の「施政方針」が市長から説明されました。議員は今後のまちづくりのあり方について、さまざまな角度から質問しました。

まちづくりは

問 市長は三田市をどのようなまちにしていきたいのか。また、前市長の踏襲はしないとされているが、市政執行をどのように変えるのか。

答 行動する市長として「住んでよかった」と評価される三田に向け全力。
三田市の都市基盤はほぼ整備できたので、これからは暮らしやすさが実感できる成熟した都市に



していききたい。積極的な情報公開と説明を行い、市民の皆様とまちづくりの課題を共有し、共に知恵をしぼり、その成果を感じられるような市政を進めたい。

そして、経験と行動力にあふれる市民の皆様や豊かな自然と利便性などの三田のすばらしい資源を生かして、「住んでよかった・住みつづけたい・三田に生まれてよかった」と評価されるまちにしたい。

市政の推進については、市民ニーズ、社会変化にスピーディーに対応できる新しい行政スタイルで、「顔の見える市長」として、「行動する市長」として、市民の皆様の中に積

極的に出向き、「対話と信頼から市政は動く」を信念に、まちづくりを進めたい。

問 市長マニフェスト「5つのお約束」のうち平成19年度中に実施する施策は何か。

答 「市民病院・地域振興株式会社・行政改革」を最優先。

最優先かつ迅速に対応すべき緊急の課題は、市民病院・三田地域振興株式会社・行政改革である。

市民病院については、腎臓内科の再開と小児科の維持に全力で取り組む。

第三セクター三田地域振興株式会社では、民間から社長を登用する。

行政改革では、将来にわたる厳しい財政状況に対応した「新行政改革プラン」を本年度中に策定したい。その他には、「まちづくり憲章の制定」と

「地球温暖化対策実行計画の策定」が早急に進めるべき課題である。

問 公約である小学生35人クラスの全学年実施、市内循環バスの再試行、障害者就労支援スリーデイズトライ(三日間の就労体験)の進め方について見解を伺う。

答 公約の実現に向けて検討を行う。

小学校35人学級編成については、本年度から対象校全てについて3年生まで導入している。4年生以上の導入については、市の独自施策となることから、早急に実施時期や所要経費などの検討を行う。

市内循環バスの運行は、赤字の場合の負担など、解決すべき課題が残っている。再試行は、全市民的な赤字バス路線の対策とあわせて検討したい。

障害者スリーデイズトライは、障害者の方にとって絶対の就労体験の場となると考えている。さらに企業にとっても、障害者を知り、障害者雇用を考える良い機会となる。

当面は、年度内を目的にスリーデイズトライなどの実習場所の確保や職場開拓をすすめるため、ハローワーク、障害者就業支援センターと連携し、商工会や市内の企業・団体に理解と協力を呼びかけていく。

問 まちづくりにあたって、地域の力をどのように向上させるのか。

答 地域だけでなく個人や団体がまちづくりのビジョンを共有し、最大の力を発揮できる体制づくりを行う。

地域力育成のためには、まず行政が責任を持って

実施する分野を明確にする必要がある。そのうえで地域の主役である市民の方々が個性や能力を発揮し、積極的に行動できる環境をつくり、市民の参加と協働意識を支えられたまちづくりができるようにしたい。

具体的には、行政情報を積極的に提供・公開するとともに、市政出前講座を活用するなどして地域への意識啓発を進めたい。さらに、審議会などの委員について市民公募を推進する。

地域だけでなく、「三田のまちづくり」に関係するすべての個人や団体がまちづくりのビジョンを共有し、最大の力を発揮できる体制づくりを行うことが行政の責務である。

問 市長のまちづくりの基本的な考え方を伺いたい。各項目を束ねるビジョンとして「持続可能」という考え方は。

答 安定的、継続的に市民が幸せと豊かさを感じられるまちづくり。すべてのまちづくり施

策の基礎には、まちづくりの課題を市と市民が共有することと両者の信頼関係がなければならぬ。また、「持続可能」とは、長期的に財政が健全で、暮らしに必要な行政サービスを協働の枠組みの中で、安定的、継続的に供給することである。

市民が幸せと豊かさを感

受けるまちづくり。すべてのまちづくり施



竹内市長のマニフェスト

竹内市長は、次の項目をマニフェストとして掲げています。

元氣な三田を創る 5つのお約束

1. 子どもと未来 県下トップの幼児医療制度の実施/小学校35人学級の全学年実施/放課後児童クラブの時間延長

2. 暮らし、安心 市民病院の医師・看護師確保/介護予防の充実/「歩ける街」づくりに地域見守り隊の結成を支援

3. ふるさとが元氣 高齢者・多世代交流の場づくり/三田米・三田牛などのブランド化と全国へのビジネス展開

4. 市民と街 まちづくり憲章を制定/「市長と本音でトーク」を開催し市民と対話/NPO・ボランティアの育成

5. 改革と責任 情報公開と説明責任を果たす/職員数の10%削減/経常収支比率93%、実質公債費比率17%に抑制

質問議員

- 厚地 弘行 (盟正会)
- 檜田 充 (民主党)
- 平野 菅子 (公明党)
- 國永 紀子 (共産党)
- 三木 圭恵 (新風みらい)
- 関口 正人 (市民クラブ)
- 大月 勝 (清風会)
- 野上 和雄 (民主党)
- 城谷 恵治 (共産党)
- 松岡 信生 (公明党)